

北海道建築士会ブロック協議会事業報告書

ブロック名	道央ブロック
報告者	道央副ブロック長 星野 里英
事業名	第1回道央ブロック協議会
開催日時	平成24年4月14日(土)
開催場所	研修会・協議会 TKPビジネスセンター アネックス 7A会議室 北海道札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル7階 Tel.011-252-3165
参加者数	研修会45名 協議会27名
参加支部	札幌(14名)・小樽(5名)・後志(3名)・恵庭(3名) 空知(1名)・千歳(3名)・当別(2名)・学生(3名)・一般(11名)
事業内容 問い合わせ先	代表者 氏名 南雲 勇次 E-Mail yamani@navy.plala.or.jp 連絡先(勤務先) TEL・FAX

事業内容

報 告	<p>【協議会】</p> <p>(1) 前回協議事項の確認</p> <p>(2) 平成24年度役員紹介</p> <p>(3) 平成24年度活動方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年キーワード「絆・連携」を発表し活動方針を確認した。 <p>(4) 平成24年度事業計画</p> <p>(4)-1 共有データベースの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ML(メーリングリスト)の構築 ※参加は原則45歳以下とする。支部の事情による場合は役員にて協議する。 ・メンバーカルテの整備 ※第2回協議会での配布を目標にH24年版を更新する⇒配布は1支部1部 ・支部活動報告シートの作成 <p>目的：他支部の活動内容を具体的に知る事により、所属支部での活動の参考とし、より地域に根差した活動を行うため。</p> <p>内容：今後行う活動を支部単位で報告シートに記入し、道央ブロックとしてまとめる。(平成24年度先導青年連絡会議にて提出したシートを利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第3回協議会までの活動について提出し、平成25年度第1回協議会にて配布。 ※配布はPDFデータにて1支部1枚のデータCDの配布とする。 ・道央ブロック協議会関連行事予定表 <p>各支部の活動の最新情報をメーリング上でリレーにて更新。協議会で配布・報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※協議会開催時に合わせて情報を精査する。 <p>(4)-2 「住宅クレーム110番」回答協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ※13年より行ってきた回答協力を終了した。 110番のホームページリニューアルに伴い、団体としての回答が難しいため。 <p>(4)-3 協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催とし、CPD認定対象となる研修を開催する ・本年度キーワード「絆・連携」に沿った内容とする。
--------	---

事 業 内 容

報 告

- (4) -4 幅広い交流の場へのサポート
 - ※交通費補助 2人 16,000円/人(報告書作成費含む)
 - (4) -5 業務に役立つ情報の発信
 - ・各種講習会や法改正の情報発信を引き続き行うほか、各支部で開催するセミナー等もメーリングにて案内する。
 - ※石塚副ブロック長より配信
 - (5) 平成24年度予算
 - ※交通費 1,000円/人の配布を廃止した。
 - (6) その他連絡事項
 - (6) -1 道士会HPの活用
 - ・様々な情報が掲載されていることを周知した。また、青年委員会のHPも現在製作中であることを告知し活用を呼びかけた。
 - (6) -2 協議会開催時期と担当支部の確認
 - ・第2回千歳開催、第3回恵庭開催
 - (6) -3 道央ブロック協議会の人事について
 - ・現執行部の任期はH24～H25の2年間であることを確認した。
 - (6) -4 青年建築士の集い(旭川大会)について
 - (6) -5 青年サミット(函館開催)について
 - (6) -6 第37回全道大会(函館大会)について
 - (6) -8 第55回全国大会について
 - (6) -9 社会貢献活動に関する取組みについて
 - ・道央ブロックは札幌支部の「ゴミサークルの製作」を出展
 - (7) 各支部事業予定及び経過報告
- その他
- 懇親会などで使用する地域特産品の持ち寄りについて
- ・特産品等持ち寄りのお願いの案内をする場合は、企画の段階で各支部の青年部長へ意見を伺い、決定することとした。

【研修会】（CPD 3 単位）

「カラーユニバーサルデザインセミナー」～もうひとつの彩り～CUDから見た景観

【CUDとは】

日本人男性の 20 人に 1 人、女性の 500 人に 1 人、全国で 300 万人以上いると言われる「色弱者」。色弱者にとって誘導サインや路線図・時刻表など、情報を読み取りにくく不便を感じるケースが多くあります。CUD (カラーユニバーサルデザイン) は色弱者を含め様々な方に見やすいように配慮された、配色を含めた視覚情報のデザインです。

□研修プログラム

- ・ カラーユニバーサルデザインについての講演

講師 NPO 法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構

理事長 谷越 律夫氏

副理事長 栗田 正樹氏

- ・ シミュレーションツールによる体験

シュミレーションソフトや眼鏡、色弱模擬照明を使用して色弱者の見え方を体験した。

- ・ まち歩き探訪 ～CUDの視点から～

アプリなどを用いてサイン等をCUDの視点で確認しながらまち歩きを行った。

報 告



栗田氏による講演



講演風景



シュミレーションツールによる体験



まち歩き探訪